

2025 年度 高等学院同窓会学術研究奨励金
研究成果報告書概要（WEB 公開用）高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [千野 日奈太]

学年・組・番号 [3年 E組 17番]

研究課題： <<国境離島>>対馬におけるサステイナブル・ツーリズム

(英文) A Research on Sustainable Tourism in Tsushima as an Island on Maritime Boundary

研究概要：

本研究は、対馬市が「対馬市第2期SDGs未来都市計画（2023～2025）」で掲げるサステイナブル・ツーリズムを背景に、観光事業がもたらす環境・社会的負荷の要因を明らかにし、持続可能な観光のあり方を具体化することを目的とする。そのために、観光事業者や行政へのヒアリング、2018年以降に実施してきた韓国人観光客へのアンケート調査を通じて観光客のニーズを把握し、対馬市のインバウンド政策の妥当性を検証する。さらに、政策上の課題を整理した上で、解決策や新たな観光施策の提案を行う。

研究成果：

本研究では、対馬市における韓国人観光客の実態とニーズを、先行研究、現地アンケート、SNSや旅行サイトの分析を通して明らかにし、現在のインバウンド政策の妥当性を検討した。調査の結果、韓国人観光客は「近くて安価に行ける海外」として対馬を訪れる傾向が強く、訪問回数は一～二回にとどまり、リピーター化が進んでいないことが分かった。また、宿泊地や観光地が比田勝・厳原など一部地域に集中し、オーバーツーリズムが発生している現状も明らかになった。一方で、市は環境や地域社会への配慮を重視したサステイナブル・ツーリズムを掲げ、「コアなファン」を重視し質の高い観光への転換を目指しているが、その意図が十分に観光客へ伝わっていない点が課題であると感じた。実地調査を基に移動手段の改善など具体策を提案できた点は成果であり、今後は実現性や効果の検証を深めたい。

研究者：

研究代表者 3E 千野 日奈太

研究分担者 3B 神宮 大輝

3D 西島 康介

3E 嵯峨谷 柊

2D 渡邊 創太

担当教諭 柿沼 亮介

(受給額：23000円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名がWEB ページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真：



(対馬内の藻場での活動)



(対馬市役所での聞き取り調査)



(金田城での活動)